

優しい暮らし

丁寧に暮らす。暮らしを楽しむ。

yukobo letter

優建築工房便り

No.8

2015年4月号

【発行元】

株式会社優建築工房

〒243-0815

神奈川県厚木市要田西 1-20-8

TEL046-294-4500 FAX.046-294-4561

Life Space Design
優建築工房

ゆうけんちくこうぼう

人に優しく、環境に優しく、優れた技術

優建築工房 検索



Y様邸は1階が親世帯、2階が子世帯。玄関と浴室は共同の二世帯住宅。リフォーム内容は、1階は浴室等の設備交換、2階がメイン工事。2人のお子様の成長に伴うLDKの他にそれぞれの個室をつくるリフォーム。当初は、その部屋数を確保するには今の家の広さでは無理だと思い他の土地に新築等を検討していたとのこと。以前から奥様はチラシを見て弊社をご存知で、家を考える時には依頼したい会社

のひとつと思っていたと伺い、とても嬉しく思いました。本格的に計画をとったとき、近くで構造見学会があり、奥様が気のないご主人を誘い参加していただきながら、我が家へ来ました。ご主人は飾り気のない工事現場を見学いただきながら、耐震の話と同時に現状のお悩みや築年数からの状態等を相談された際、

優建築工房 お宅訪問

一言芳思

一言芳思(いちごんほうおん):あの時、ひとこと声をかけていただいた感謝を忘れずに…

伊勢原市Y様邸 縦の空間を有効活用した空中リフォーム

二世帯住宅2階子世帯の1LDK+ロフトから、2人のお子さんとご夫婦の個室を確保する、既存空間を有効利用したリフォーム



Y様ご家族と設計担当の関崎

Y様邸は1階が親世帯、2階が子世帯。玄関と浴室は共同の二世帯住宅。リフォーム内容は、1階は浴室等の設備交換、2階がメイン工事。2人のお子様の成長に伴うLDKの他にそれぞれの個室をつくるリフォーム。当初は、その部屋数を確保するには今の家の広さでは無理だと思い他の土地に新築等を検討していたとのこと。以前から奥様はチラシを見て弊社をご存知で、家を考える時には依頼したい会社

のひとつと思っていたと伺い、とても嬉しく思いました。本格的に計画をとったとき、近くで構造見学会があり、奥様が気のないご主人を誘い参加していただきながら、我が家へ来ました。ご主人は飾り気のない工事現場を見学いただきながら、耐震の話と同時に現状のお悩みや築年数からの状態等を相談された際、

弊社では状態により新築を進めることもある事、リフォームならではのメリットと想定される注目点をアドバイスされ、良いことばかりでなく、出来ないこともあります。そこでその頃に連絡をくださる工事時期はお子さんの受験後なのでその頃はお別れし、春になり、連絡をしてみようと思つた頃に電話があり、きちんと話を覚えていてくれたんだと信頼して頂け、お付き合いが始まりました。

「一ルームの空間に本当に3つも

個室ができるのかイメージができず、窮屈に暮すことには不安も抱いていたところ、断面図や絵を用いて、立つ高さ、奥行きなど細かな説明があり空間を利用すると言

う事が理解できました。LDKの収納庫やロフトの階段は要らぬと言ふ主人と暮らしてから不意点をアドバイスされ、良いことばかりでなく、出来ないこともあります。そこでその頃はお子さんの受験後なのでその頃はお別れし、春になり、連絡をしてみようと思つた頃に電話があり、きちんと話を覚えていてくれたんだと信頼して頂け、お付き合いが始まりました。

「一ルームの空間に本当に3つも

個室ができるのかイメージができず、窮屈に暮すことには不安も抱いていたところ、断面図や絵を用いて、立つ高さ、奥行きなど細かな説明があり空間を利用すると言

う事が理解できました。LDKの

収納庫やロフトの階段は要らぬと言ふ主人と暮らしてから不意点をアドバイスされ、良いことばかりでなく、出来ないこともあります。そこでその頃はお子さんの受験後なのでその頃はお別れし、春になり、連絡をしてみようと思つた頃に電話があり、きちんと話を覚えていてくれたんだと信頼して頂け、お付き合いが始まりました。

「一ルームの空間に本当に3つも

個室ができるのかイメージができず、窮屈に暮すことには不安も抱いていたところ、断面図や絵を用いて、立つ高さ、奥行きなど細かな説明があり空間を利用すると言

う事が理解できました。LDKの



デットスペースは収納ダンスを設置し
ご主人のキャップコレクションに

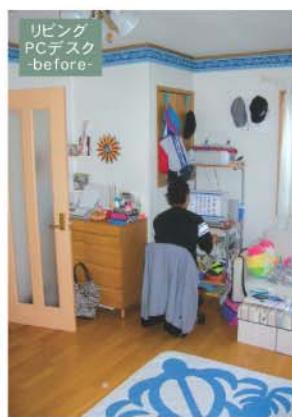
ロフトへは梯子ではなく階段を作成し、上部廻りには安全のため柵を取り付けました。階段は洗濯物などを運ぶ動線が楽です。これが梯子だったら毎日の昇降が大変でした。と奥様。



ロフトへの階段



PCデスクまわりの雰囲気は
ご家族のお気に入り



リビング
PCデスク
before-

after-

リフォーム事情

床材の選び方

床 VOL.2

引き続き、床のリフォームのお話。前回は床の種類とその特徴についてお話をいたしました。今回は素材の特徴を踏まえた上で、そのメリットとデメリットを理解し、その場所や暮らし方にあった床の選び方と施工方法についてお話をいたします。

リフォームの際の床選びで重要なのは、どのような床材をどの部位に使うかを良く検討することです。当然ですが水まわりには防水性のあるものが第一です。

クッショングロアーは防水性が高く水まわりに適した素材で脱衣所、トイレなどに便利に使われます。今は自然な木目風のクッショングローラーもあり、一見する商品もあります。

タイルも耐久耐水性があるのでも水まわりにお勧めですが、足元が冷え滑りやすい素材もあり、選択の際は要注意です。足当たりも硬めなので、部屋の用途として立っている時間の短かさに向いています。

コルク材は、クッション性があり、表面の仕上げによっては滑りづらいものもあるので、ベットに適した素材ですが、タイル形状のため爪が

りで、床材をどの部屋に使うかを良く検討することです。自然ですが水まわりには防水性のあるものが第一です。

無垢材は、弊社でも素足で歩く心地よさから多く採用されていますが、反面、特に針葉樹の桧や杉などは傷がつきやすく反りが出る場合もあります。リビングダイニングだけでなく、シミや汚れを気にしないならキッチンにも無垢の床材はお勧めです。

気になる場合は耐水性の高い素材を気になる範囲にだけ貼ることも考えられます。

合板フロアは、質感や肌触りで無垢より劣りますが、表面仕上げの耐久性が高いものもありますので、お手入れ優先なら選択肢に入ります。

トイレの床材：タイル

住まいの配水管のトラブルといえば「水漏れ」と「詰まり」がほとんどですね。毎日使うので少しずつ汚れはこびり付いていきますが、ちょっとした気遣いやお手入れでトラブルを最小限にすることが出来ます。

住まいの機能と性能を維持しながら快適に過ごすためには、お家のメンテナンスは欠かせません。このコーナーでは、毎回、家の部位ごとに日頃のお手入れやメンテナンスのポイントなどをお話したいと思います。

住まいのお手入れ

第8回 排水管のお手入れ

住まいの配水管のトラブルといえば「水漏れ」と「詰まり」がほとんどですね。毎日使うので少しずつ汚れはこびり付いていきますが、ちょっとした気遣いやお手入れでトラブルを最小限にすることが出来ます。

トイレの床材：タイル

住まいの配水管のトラブルといえば「水漏れ」と「詰まり」がほとんどですね。毎日使うので少しずつ汚れはこびり付いていきますが、ちょっとした気遣いやお手入れでトラブルを最小限にすることが出来ます。



LDKの床：桧の無垢材
凹みやすいけどたたかい



外部の排水マスのフタを開けたところ

住まいの配水管のトラブルといえば「水漏れ」と「詰まり」がほとんどですね。毎日使うので少しずつ汚れはこびり付いていきますが、ちょっとした気遣いやお手入れでトラブルを最小限にすることが出来ます。

住まいの配水管のトラブルといえば「水漏れ」と「詰まり」がほとんどですね。毎日使うので少しずつ汚れはこびり付いていきますが、ちょっとした気遣いやお手入れでトラブルを最小限にすることが出来ます。

さないようになります。配管の曲がり部分などに少しずつこびり付いて詰まりの原因となります。日常的に詰まりを軽減できます。定期的には市販のパイプ洗浄剤を使用すると良いですね。トイレでは、ペーパーをまとめて流したための詰まりが多いようです。最近の便器は節水型で水量が少ないタイプが多いので、特に注意してください。

どちらの場合でも、流れが悪くなったり、ボコボコと空気の音がし出したら、配管が詰まり気味になつてゐるかもしれません。また、排水口からの臭いで詰まりに気が付くことがあります。

業者に点検をしてもらいましょう。

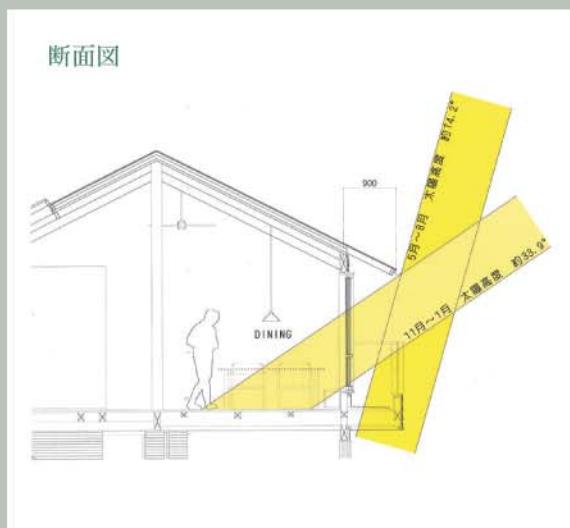
できれば定期的に、外部にある排水マスのフタを開けて、詰まりや異常が無いかを確認してください。特に、コンクリート製の排水マスの場合は、割れていたり、植木の根が侵入している例も多く見られます。とはいっても見えないところも多いのが、日頃のお手入れと使い方が肝心です。キッチンでは、食べかすや油脂分（特に揚げ油や肉の脂分）を流すことをお奨めいたします。

住まいに導かれる光 実践編

前回、住まいに導かれる光を考えた時、太陽高度の一番高い5～8月(太陽高度74.2°)の日差しを遮りながら、太陽高度の一番低い11月～1月(太陽高度33.9°)の光を取り入れる事が大切である事をご紹介させていただきました。今回は、実際の例でその計画の進め方をご紹介させていただきます。

計画した住まいは2階LDKの新築住宅。ダイニングの大きな窓は南南西を向いた明るい窓の計画です。こちらの住まいでは軒の出を90センチで計画。雨樋の出寸法を考慮すると1メートル近くの出になります。

実際の検討では、断面図(矩計図)を用いて検証します。建物の高さ、窓の取付位置、窓の大きさ等計画する建物の詳細な情報を確認します。



光を読む

住まいに導かれる光を考えるには、季節毎に変化する太陽高度を読み解き、夏の光をどの程度遮り、暑さ対策を計りながら明るさを確保するか。

冬の光はどの範囲まで光が導かれ、足りない部分をどこで補うか。

住まいに導かれる光を読み、最適な光の環境を計画する。間違いのない計画をする為には少し労力が必要になりますが、自然の光に満たされた住まいは何より気持ちが良いものです。

夏の光を遮る

断面図を見ると太陽高度の一番高い5月～8月の太陽高度74.2°の光を十分に遮っている事がわかります。図面上では軒の出は75センチもあれば日を遮る事はできますが、方位が南南西である為、実際にはもう少し低い太陽高度の光が差し込みます。また計画している窓は十分な大きさの窓で計画している為、直接的な光は完全に遮ったとしても間接的な光で明るさが期待できる事、バルコニーからの照り返しの効果も期待できる事も考慮し、直射光は完全に遮断する軒の出90センチで計画しています。

冬の光を取り込む

11月～1月の太陽高度33.9°の光については、ダイニングの奥まで光が届いているのが図面上で確認できます。こちらの計画ではダイニングの範囲まで光がしっかりと届いていればその奥についてはトップライトで光を補っている為、光が差し込む範囲としては十分となります。



優café 優caféは、ご来訪いただくお客様へのお茶のご提供の総称です

打合せは、あれこれ選ぶものがたくさん。自分好みのおうちにする決断は楽しいけど疲れるものです。そんな時は、優カフェのドリンクでひと休みして下さい。ご注文はスタッフまでお気軽にどうぞ！

冬メニューの「冷えとりHOTしょうが」と「黒蜜きなこラテ」とっても好評をいただきました。デザートのティラミスもたくさんのお客様に気に入っています！

さてさて、季節の変り目は体調を崩しやすいときです。そんな春のいちおしメニューは、エルダーフラワーのソーダ。エルダーフラワーは、西洋では風邪のひき始めなどによく使われるハーブです。東洋でいう葛根湯のようなもの。ふんわりマスカットのようなお味です。スッキリとソーダで美味しいだけです。

春のおすすめメニュー

いちごみるく

エルダーフラワー
のソーダ

金柑ネード



季節のデザート
こいのぼりクレープ



エルダーフラワーのソーダ

デザートは手作りのため、ご予約外やご来訪時間によりご提供できないときもございます、ご了承くださいませ。

CLOSE UP STAFF

安藤 るみ子

Ando Rumiko



年齢がバレてしまいますが、社会人となり20年が経ち、優建築工房の社員一号として迎え入れていただき今年で13年目となりました。学生時代は建築とは無縁の英語英文学科でした。卒業後は元々インテリアが好きだったことと英語を活かしたいという思いで内装関連の会社に。そこで多くのインテリアコーディネーター出会い憧れたのが私の道のはじまりでした。

結婚出産を経て仕事復帰をするとき地元建築会社でのリフォーム部に入社。アフターメンテナンスの仕事も多く、漏水調査やちょっとした補修工事など先輩方や職人さん達にご指導いただきながら自分で手を動かし現場を経験しました。そして、そこに住まう方々の手入れをして住まいを維持していく思いに接し、住まいの持続可能性を深く考えさせられました。

家や庭、その道具たちを大切に手入れし、庭の草花を室内に飾り、その絵を描くなどし、暮らしを楽しんでいた祖母の影響を受けた私にとって、自然の素材を大切にし、住まいにも求められる機能やそこに住まう方々の心地よさを追求し続けるこの会社で家づくりができることに日々喜びを感じています。

まだまだ道半ばですが、私自身の子育てや家仕事の経験、これまでの多くのお客様のお言葉や暮らし方から学んだことを磨き活かしていきたいと思います。

家事動線や収納はもちろん、家族の風景に思いを巡らしながら、居心地のいい方、手触り、周辺環境との調和など複合的に考え、インテリアコーディネーターとして、暮らしのコーディネーターとして、心地よい住まいをお手伝いしていきたいと思います。



体力作りに朝晩の愛犬のきなこ♀の散歩が日課

能工巧匠

のうこう
こうじょう

うちの腕利きの職人さんを紹介

第七回 大工：菅原良治さん

実際にお家を造りあげていく優建築工房の腕利きの職人さんをご紹介。今回も大工さんのご紹介となります。熟練大工の菅原良治さんをご紹介いたします。



HP新築事例掲載の「方型屋根の家」菅原さん作。N部。



とにかく大変な屋根で、一緒の大工仲間に「これ納まるのか?」と何度も聞かれたもの。真四角ならまだしも変形した屋根だから、ひと作業毎が一発勝負で緊張しながらでした。この家も今思うと思い出に残る仕事でした。

従兄4人皆が大工と言う環境から自然と大工になろうと思ったと言う菅原さんは、岩手県平泉のご出身。師匠に付き働きながら大工の訓練校に通い技術を磨き独立し、冬季だけ親戚のある厚木で仕事をする内に、あまりに暖かく過ごしやすい気候が気に入り家族を呼び神奈川に移り27年が経ったそうです。

「いろんな家に携わってきたけど、請け負う仕事は建売と違う同じものを造ることがなく、お施主さんや設計士の要望は十人十色。最初にどうしたいのか、それを読み取ることを大切にしています。その都度、考え、今やる作業に失敗がないように。イレギュラーなことにどう対応しようか、考えて考えて進め、煮詰まった時は、岩手の師匠がよく言ってた“造るものに対して絶対にこれだと言う決まりはない。頭で考えて造るべし”と言う言葉を思い出し、また良く考える。だから頭が禿ちゃうのよへ」と楽しげに語ってくれました。「長くやっていて思うのは、難しい、大変だと思ったものほど、後から思うと楽しい思い出に残る仕事だった。」と菅原さん。随所にこちらが感激する熟練の技を見せてくれるうちに宝物級の大工さんです。



PRESENT

5名様へプレゼント

今号のプレゼントは、観葉植物「シッサスエレンダニカ」とフレンチ風の網かごのセットです。
かごの大きさは、幅50cm・横30cm・縦40cmほどです。



お届けのかごは手づくりのためサイズは多少異なる場合もございます。植物も葉のつき方などが異なります。

【プレゼント応募】

①お名前 ②〒とご住所 ③電話番号 ④ご感想やご要望

以上をご記入の上、メール・ハガキ・FAX・TELにてご応募ください。

応募〆切 4/22(木)〆切 ご当選者へ発送をもってお知らせ致します。

【あて先】メール nakamura@yukobo.jp

メールの件名に「プレゼント応募」とご記入ください

ハガキ 〒243-0815 厚木市妻田西1-20-8 優建築工房
yukoboletter プrezent係

FAX 046-294-4561

TEL 0120-873-312